



発行所
財団法人 漁船海難遺児育英会
東京都千代田区内神田
2丁目2番1号
鎌倉海岸ビル内
電話 03(254)7543
印刷 (株)連合印刷センター
電話 03(582)8541

感動!! 育英会設立十周年記念

「漁船海難遺児を励ます全国のつどい」



(全国のつどい)・皇太子殿下の励ましのお言葉

育英会設立十周年記念事業の最大の行事「漁船海難遺児を励ます全国のつどい」が、八月三十日午前十時から東京の国立オリンピック記念青少年総合センターで、皇太子殿下・同妃殿下の行啓を仰ぎ、奨学生・母親代表二百五十五名、来賓に田中大臣・亀岡農林水産大臣をはじめ関係者多数の御出席を賜わり、意義深く感動裡に挙行されました。

このつどいは、育英会常任理事の亀長友義(大日本水産会々長)の開式のことばに続いて、国歌斉唱と漁業殉職者への全員黙禱のあと、主催者を代表して鈴木善幸理事長のあいさつ、協賛団体として宮原九一・漁船海難遺児を励ます全国協議会々長(全漁連会長)、芳賀得代・全国漁協婦人部連絡協議会

の励ましのおことばをいただきました。最後に、漁船海難遺児を代表して中村弥生さん(香川県・卒業奨学生)が答辞を行い、育英会専務理事池尻文二の閉式の辞で無事十一時に終りました。皇太子殿下・同妃殿下におかれは鈴木理事長の先導で御退場の際、遺児や母親に直接親しくお励ましのおことばをおかけになり、遺児や母親はもとより会場全体が感動に埋めつくされました。

同つどいは、このあと第二部にはいり歌手であり声優でもあるささきいさおを囲んで楽しいひとときを過ごし、午後はNHK・サンシャインシティーなど都内見学を行いました。

なお、「全国交流の夕べ」が前日二十九日午後六時半から同センターで行われ、遺児・母親代表の全員が同センター指導員の指導のもとに遊技などで、長旅の疲れも見せず、楽しいひとときを過ごしました。

これら当日の記録写真並びに映画は現在編集中心であります、各地方協議会を通じて御覧になれる機会があると思っておりますので御期待ください。

皇太子殿下 励ましのおことば

漁船海難遺児育英会設立十周年を記念して育英会奨学生代表及び母親代表の参加のもとに漁業関係者の皆さんが「漁船海難遺児を励ます全国のつどい」を開催されることは、大変意義深いことと思っております。

我が国は四方を海に囲まれ、国民生活の多くを漁業に依存しております。この重要な役割をになう漁業者の中に毎年犠牲者が出ることは誠に心の痛むことであります。遺族の方々に對し深い哀悼の意をささげたいと思っております。

遺族の方々の書かれたものに接するときは、皆さんの悲しみ、ご苦労に對し、胸にせまるものを感じます。皆さんはそうしたご苦労にもかかわらず本当に強く明るく生きてこられました。こうした大きな犠牲を乗り越えて進んで行かれる皆さんの姿には心を打たれずに

その後、この「つどい」に御臨席いただきました皇太子殿下・同妃殿下におかれましては、海難遺族の生活や遺児奨学生の身にこのほか御関心を深められ、より詳しく話を聞きたいと御希望されましたので、九月三十日に関係代表者が東宮御所にうかがって説明申し上げました。

理事長あいさつ



理事長 鈴木 善幸

本日、ここに財団法人漁船海難遺児育英会設立十周年記念「漁船海難遺児を励ます全国のつどい」を挙行いたします。

皇太子殿下・同妃殿下におかれましては、公式行事御多端の中を御来臨賜わり、かつ、有難き励ましのお言葉をいただきますことは、漁船海難遺児奨学生を始め、参会者一同の深く喜びとするものであり衷心よりお礼申し上げます。いま愈々御機嫌のわるい御様子を拝し、無上の喜びといたしている次第でございます。

また、主務大臣を始め、かくも多数の御来賓の御出席を賜わり、直接、漁船海難遺児奨学生を励ましていただくことができますことを、主催者を代表して、厚くお礼申し上げます。

只今、この会場には、中学生代表並びに母親代表が、全国から元気に出席いたしております。ここに、親しく奨学生並びに母さんを中心にした、意義ある設立記念行事が挙行できますことを、関係者始め私の心からの喜びとするものであります。

顧りみますと、昭和四十四年から始まり「漁船海難遺児を励ます運動」は、全水産業界の総意に基づく自主的な運動であります。そして、この運動を具体的に推進いたす目的をもつて誕生したのが、本財団法人漁船海難遺児育英会であります。この財団が、昭和四十五年十月二十九日に設立されて本年満十年を迎えましたことは誠に同慶の至りであります。この間、水産関係者並びに一船国民各位からいただきました数々の、暖かい御支援に對しまして、厚くお礼申し上げる次第であります。

また、全国を対象とする本財団の事業は、これに對應できる全国組織をもたなければ実施できないところであります。幸いにも漁業協同組合系統組織を挙げて、愛情と熱意のもとに、御協力を賜わり今日まで運営されております。ここに深甚の謝意を表するものであります。

本財団は、このように、誠に、多くの皆様方の御尽力に支えられてまいり、事業内容も、十周年を迎えました本年度では、設立当初の事業水準に比べ、格段の改善充実を見るに至っております。

文部大臣 励ましのおことば



文部大臣 田中 竜夫

まいりました。このように、漁業は、国民の栄養供給の源として国の基盤を支える重要な役割を担っております。しかし、世界の最先端をゆくわが国の漁業においても、活動の場が海であることから、海難事故は絶えず、多くの尊い人命が失われてまいりました。さらに、今日のように海上の交通が混雑し、船舶の機械化や自動化が進んでくると、この近代化に伴う新しい型の海難も発生いたします。

昨日まで元気で働いておられた皆さん方のお父さんが、突然襲ったしけや作業中の不測の事故により、殉職された時のお母さんを始めとする遺族の方々の悲しみは、いかばかりであったでしょうか、皆さん方も幼い時に、お父さんを亡くされ、言葉では言い尽くせない寂しさ、つらさを味わわれたことと存じます。

しかしながら、皆さん方は、そうした寂しさや困難を乗り越えて明るくたくましく成長されました。私は、本日、この席に、その皆さん方の元気な姿を間近に拝見することができ、まことに心強く、ご列席のお母

第3回

願書締切り日

10月末日まで!!

都道府県別奨学生数

(昭和55年、6月末現在)

県 名	学資給与奨学生				奨学金貸与奨学生	合 計	55年度第2回新規採用者				
	幼 児	小学生	中学生	小 計			幼 児	小学生	中学生	(貸与)高校生	計
北 海 道	7	125	138(1)	270(1)	47	317(1)	1	1	—	1	3
青 森	1	55	86(2)	142(2)	30	172(2)	—	—	2	—	2
岩 手	6	61	70	137	38	175	2	3	1	1	7
宮 城	5	58	55(1)	118(1)	11	129(1)	1	2	1	—	4
秋 田	—	1	7	8	1	9	—	1	1	—	2
山 形	1	13	19(1)	33(1)	8	41(1)	—	—	—	—	—
福 島	—	29	27	56	21	77	—	—	—	—	—
茨 城	—	7	11	18	6	24	—	—	—	—	—
千 葉	—	25	26	51	2	53	—	—	—	—	—
東 京	—	3	5	8	1	9	—	—	—	—	—
神 奈 川	—	4	3	7	3	10	—	—	—	—	—
新 潟	1	13	21	35	8	43	1	—	—	—	1
富 山	1	10	12	23	10	33	—	—	3	1	4
石 川	3	24	26	53	11	64	—	3	1	—	4
福 井	—	7	5	12	3	15	—	—	—	—	—
静 岡	—	9	23	32	10	42	—	1	1	1	3
愛 知	1	9	11(2)	21(2)	6	27(2)	—	1	1	—	2
三 重	1	17	15	33	8	41	1	—	1	—	2
京 都	—	2	1	3	1	4	—	—	—	—	—
大 阪	—	2	5	7	—	7	—	—	—	—	—
兵 庫	1	21	14	36	9	45	—	3	2	—	5
和 歌 山	—	13	13	26	6	32	—	—	—	—	—
鳥 取	2	19	15(1)	36(1)	4	40(1)	—	—	—	—	—
島 根	2	14	16	32	2	34	1	1	—	—	2
岡 山	—	6	5	11	3	14	—	—	—	—	—
広 島	—	3	5	8	3	11	—	1	2	—	3
山 口	1	36	32	69	17	86	—	—	—	—	—
香 川	1	11	10	22	11	33	—	—	—	—	—
徳 島	2	4	10	16	8	24	—	—	—	—	—
愛 媛	2	10	15	27	9	36	—	—	—	—	—
高 知	—	16	22	38	7	45	—	—	—	—	—
福 岡	—	6	24	30	1	31	—	2	2	—	4
福岡県有明	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
佐賀県玄海	2	12	8	22	3	25	2	3	2	—	7
佐賀県有明海	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
長 崎	2	75	81(3)	158(3)	20	178(3)	—	—	—	1	1
大 分	—	7	8	15	6	21	—	—	—	1	1
熊 本	—	4	6	10	3	13	—	—	—	—	—
宮 崎	—	11	10	21	11	32	—	—	—	—	—
鹿 児 島	3	14	28(1)	45(1)	8	52(1)	1	3	4	1	9
沖 縄	—	—	2	2	—	3	—	—	—	—	—
合 計	45	756	890(12)	1,691(12)	356	2,047(12)	10	25	24	7	66

(注) () 内は、特殊児、外数である。

農林水産大臣
励ましの御ことば



農林水産大臣
亀岡 高夫

さま方共々心からお喜び申し上げます。皆さん。皆さんのこれからの人生には、なお多くの困難が待ち構えていることでしょう。しかしながら、皆さんが、いかなる困難にも打ち勝ち、明るくたくましく成長していくこそが亡くなられたお父さんへの何よりのはなむけであり、また、今日まで苦勞を重ねて皆さんをはぐくんでこられたお母さんを始めご家族の方々への恩返しでもあります。

幸いにも、皆さん方のまわりには、すでに社会人として各方面で活躍しておられる立派な先輩を始め、漁船海難遺児育英会や関係者の方々が数多くおられ、皆さん方の健やかな成長を暖かく見守っております。

皆さんが、これらの多くの方々の期待に応え、明日の日本を担う人として志を大きく持ち、一日一日を大切に生きるよう努力していかれることを願ひ今後とも、そのお手伝いをしてまいることとして、私の励ましの言葉といたします。

本日、ここに皇太子殿下・同妃殿下の御臨席を仰ぎ、全国各地から漁船海難遺児奨学生の皆さんとお母様方のご参集を得て、かくも盛大に「漁船海難遺児を励ます全国のつどい」が開催されましたことは、誠に喜びに堪えないところであります。

漁船海難遺児を励ます運動は、昭和四十四年から十年余の間に、一地方における自主的な活動から、漁業界全体の力を結集した運動にまで盛り上り、

今日では広く国民各位のご支援を得るまでに発展を遂げて参りました。

この間、漁船海難遺児に対する指導・援助のために、この運動が貢献してきた意義は、誠に深いものがあると言わなければなりません。ここに、これまで幾多の困難を乗り越えて、この運動を支え発展させてこられました方々のご努力に對しまして、深甚なる敬意と感謝の意を表するものであります。

政府といたしましては、漁船海難遺児に対する育英事業の充実につきまして、今後とも力を注いで参る所存であります。ご参集の皆様方におかれましても、変らぬご指導、ご鞭撻を賜わりますようお願い申し上げます。

只今、奨学生の代表の方々から作文の発表がありました。多感な少年期、少女期に、一家の経済的、精神的支柱を失われたことにもくじけず、明るく元気で勉強に励まれている様子を拝見し、非常に心強く感じた次第であります。

参加者からのお便り

徳島県 坂垣恵子・成信

前略 私達の為に冷夏とはいえず、汗を流してお世話下さりありがとうございます。夫を亡くしてから十五年、母子で旅行は初めて。皇太子様の励ましのお言葉を賜り、また、全国の遺児家族とも親しく声をかけ合せて励まし合う事が出来、明日への活力が身体の中からともなくいきづいてくるのを感じました。楽しかった東京旅行の思い出はいつ迄も忘れることなく仕事に勉強に精をだし、今度お会いできた際には、お世話をしあがれる側の人間になれるように努力致したいと存じます。全国のつどい開催に御協力下さいました皆様、誠にありがとうございます。季節の折柄お身体ご自愛下さいませ、まずはお礼迄……。

鹿児島県 立石久代

この間は、どうもありがとうございました。たいへん楽しく過ごせ、中学時代のよい思い出になりました。

全国から来た人々とも、仲よく遊べました。それに、皇太子殿下からも、励ましのおことばももらえ、こんな光栄なこともありませんでした。

この日を切っ掛けに、母にも、協力

『募金・寄附金』お礼

昭和五十五年七月から九月までに、御協力いただきました漁協系統募金及び一般寄附金は、次のとおりです。ここに、御芳名を掲げ厚くお礼申し上げます。

- 漁協系統募金
七・九月 九、一五七、〇九〇円
四月以降計 一四、二六三、〇二四円
- 一般寄附金
七・九月 六、〇三九、六〇四円
四月以降計 一四、七四三、一二二円
○四月以降総計 二九、〇〇六、一四六円

※御芳名(敬称略)

一、漁協系統募金(系統扱い寄附金含む)

〔七月〕
▽三重県(宮崎竹次郎・鈴鹿市)▽三重県(花井庄太郎・津市)

▽熊本県(若北町漁協)▽沖繩県▽佐賀県玄海▽千葉県(粕谷征三・館山市)

▽千葉県(白井重治・千葉県千倉町)▽神奈川県▽大分県(稲田実御尊父香典返し・大分県国東郡香々地町)▽大分県(ダイヤモンドフエリー・さつき会)

▽青森県(全国海友婦人部八戸支部)▽岡山県

▽愛知県▽三重県(家田勇一・鳥羽市)▽岡山県

〔九月〕
▽千葉県(株式会社大滝工務店取締役社長大滝優)▽香川県(網本恒義・御尊父香典返し)▽京都府(小西保治・御内室香典返し)▽青森県(報恩互助会・八戸市)

二、一般寄附

〔七月〕
▽日正ポートサービス・アムール丸・豊隆丸(全日海経由)▽関利雄さんを偲ぶ会▽幾松(東京都港区)

▽株式会社三幸社▽大場義子(神奈川県茅ヶ崎市)▽全日本海員組合金石支部▽全国海友婦人会金石支部▽全国海友婦人会宮古支部▽三陸海鷗会▽田平尚子(兵庫県宝塚市)▽早川リホ(東京都新宿区)▽島崎靖子(全水共常務理事故島崎武雄氏香典返し)▽合沢力

〔八月〕
▽共栄火災海上保険相互会社募金箱▽俳優加山雄三▽株式会社みなと新聞社▽船員災害防止協会漁船部長樋田徹也▽全日本海員組合遠藤定男

▽日栄証券株式会社▽東京海苔問屋協同組合▽新聞弥一郎(三重県度会郡)

▽日本水産株式会社社会長小副川十郎▽海洋画家佐藤幹児(「海洋画チャリティー展」売上げより)▽鈴木二郎(神奈川県横浜市)▽土佐かつお船員組合(漁船同盟経由)▽田中利信・宮原九一 故田中キセ氏香典返し▽早川イサ(東京都新宿区)▽全日本中学校長会

▽日本水産資源保護協会▽全国連合小学校長会

〔九月〕
▽沢田通(東京都新宿区)▽嶋田則之(石川県能美郡)▽千葉港船員サービス株式会社(全日海経由)▽日新汽船(株)ジャパンリンデン乗組員一同(全日海経由)▽中内久美子(兵庫県西宮市・朝日新聞大阪厚生文化事業団経由)▽日本水産(株)峰島丸司厨長

▽水取取締役社長大村寅一▽全国漁船労働組合同盟▽九州山口地区漁協婦人部大会募金▽大島みぎわ(東京都杉並区)▽あるびおん丸乗組員一同(全日海経由)▽早川豊彦(東京都新宿区)▽鈴木二郎(神奈川県横浜市)

＊編集後記＊

本号は「全国のつどい」を特集しました。上京されたみなさんは、初対面同志にもかかわらず、すぐにうちとけ親しくなり、お別れの時にはお互い別れを惜む姿が印象的でした。本号にみ